



玉川玉浪
『おひ相棒、すばらしい玉提灯が見えた。云々』
『誰でもね、俺等だ。か...

潮聲硯抄帳
武門君、長貴君
新婚祝章
春の陽や女夫録なる福...

磐城歌壇一月題詠
新妻久満男選
『鉢梅』 梅 林 寺 馨

森里句鈔
伊達 森里
擡上や底光りする春の...

山の怪談
丸山 寛雄 作
真木 浪 齋 評

冬之朝
二年 本田カクヨ
離れ難い床を離れて...

おひ相棒、すばらしい玉提灯が見えた。云々でもた
『誰でもね、俺等だ。か...



おひ相棒、すばらしい玉提灯が見えた。云々でもた
『誰でもね、俺等だ。か...

外科
レントゲン線
新川町二七(電四六四)

集募生學
地方唯一の洋裁専門學校
新學期四月五日

吉田眼科病院
美味で評判の
イワキサロン

株式買収、債権取立
合資三共商事
平町電三五二

廣 告
お豊はあつさり断つた
お豊は、さう云ひ切つて...

前田醫院
院長 前田清美
植田町電話二二四

内臓外科
平町六丁目(橋際)
木村外科醫院

内科
川井内科診療所
川井安子

磐城代表的の土産品
山、靈峰羊羹、楠羊羹
右美麗三本箱入特價三十錢

上田外科醫院
上田耕作
電話一八九番

英和、和英辭典
國語、漢和辭典
各種豐富

學習院型ランドセル
女學生用手提カバン
サイゴ印學生帽

丸井株式會社
株式買収、債権取立
丸井株式會社

丸井株式會社
株式買収、債権取立
丸井株式會社

陽性病
皮膚科
性病科
門 專

ツルヤ
入學用品店內陳列
入學ト進級ノ御準備ニ...

### 未だ現金が握れない 全く降参した鑛産税

課率協定の見當がつかぬ爲に

鑛産税半額地方協議の當て(鹿島一、二〇〇圓)では近頃結束委員を擧げ各  
實施を見るや内郷の四萬圓四、〇〇〇圓を受取つて關係に該問題の解決  
を望頭に、湯本二萬圓、好むない關係から八年度の決定を交渉する事になつた  
間一萬圓、其他合計約十萬圓も出たが未だなすので内郷  
の新財産が轉げ込む事とな  
つた都下の炭鑛關係各町村  
では之が爲非常に財政上の  
緩和を見るので時節柄少か  
らず之を喜んだのであるが  
由來關係町村が徴税令書  
を發して鑛産者から税金を  
徴收するには其れ以前に關  
係町村間に於て各々課率の  
協定を要するに拘らず之の  
際現貨に鑛物を産出せず  
に鑛區のみを有する區域も  
果して徴税に參加し得る否  
等新法の解釋區々に亘り過  
般の衆議院委員會に於ても  
左右の論議あつた程で該問  
題は未だその根本方針が定  
まらず、隨つて實際徴税の  
域に進んで居らずに今後  
の展開を眺むるより外ない  
有様なる爲財政難に苦む各  
町村の焦慮一方ならぬもの  
あり、就中之を以て既定の  
収入として計上した鑛區關  
係町村たる鹿島、飯野の兩村  
では未だ八、九年度の制と  
觀る向もあると

### 磐中、高女兩縣立 既に定員を越す

或は昨年以上に達せん  
今十三日正午現在に於ける十八日迄各區長に申込ま  
れたる各區の入学願書受  
取数は  
磐中二五二 平南五三  
磐女二五一

算術書教師 郡内務  
用使用禁止 平町  
その他市街地小學校の上級  
児童中では算術教科書に  
用を禁ずることにした  
自動車協會支部總會は十五  
日午後一時から同會會議室  
に於て十年度決算、役員改  
選、平町農會總會、來る十八

### 之が眞の正常復歸か 營業用途炭再び増加

各山元今月上旬中の成績

過般來兩三日に亘り引續き一日以降十日迄の發送高由是觀之、營業用途炭に  
關したる程で無く再び漸増の  
態に轉じて居るに對し、  
營業用途炭、二一〇車、五  
三、〇〇九車、省用一、  
五八三車、四二二車、  
合計五、七九三車、二、  
四三二車  
前年同期に比し  
營業用途(増差) 三九八車  
省用(減差) 三二七車、  
一、二八八車  
本邦は守護、地頭(後世の  
大小名と等し)などを分置  
したのは、永曆元年(一六  
一六年)より、源頼朝が天  
下を平定する直前の文治元  
年(一一八五)十一月であ  
る。又本書は隆行以外の幹  
年移岩城居白土城、(中)  
永曆元年卒、年五十  
系人物に對し、年號を克明

### 陸軍被服縫製に 精出す失業婦人

内郷の講習會好成績

内郷村では陸軍被服縫製五、三、三日の受講にして修  
百書を割當られたので方得自作業が出来、講習會  
面委員と協力去る五日から一日から十五銭の賃銀を貰  
渡さくわ女史を講師に村つて喜ぶ婦人もあれば、自  
會議事堂に講習會を開いて宅作業で一日十着(一着十  
分)で、目下の志望者は約八割を仕上げて男も立つて  
五十名で来る十五日迄行ふ失業婦人もあると

### 白水阿彌の第二回修理

本堂の特別保護建造物並に内  
壇安置五佛像各指定に就て

白水阿彌の岩城氏一代  
伯父清衛之許、後免父  
(師範のこころを)無  
罪本領(岩城五郎)を云ふ  
か)安堵後、爲地頭、後  
年移岩城居白土城、(中)  
永曆元年卒、年五十  
系人物に對し、年號を克明

### 郷倉恩賜金 記念品贈呈

十七日午で傳送式  
本縣では長くも凶作地御救  
恤の恩賜を以て御下賜金拜  
受し建設される事になつた  
郷倉の恩賜金傳送式を奉  
七日午前十一時平野講習  
の外縣下二ヶ所で行する

### 草野出身大平上等兵 討匪戦線の花と散る

遺骨を迎へて村葬

草野村下神谷生れ満洲獨立、道路損傷負擔金の件を  
守備隊勤務歩兵上等兵大平  
正二(四)君は過般匪賊討伐  
中名譽の戦死を遂げたので  
同村では一昨日中道骨の到  
着を待ち村葬を執行する事  
になつた  
自協支部總會、平野管内  
遠藤技師が昨日十二日竣功檢  
査  
自動車協會支部總會は十五  
日午後一時から同會會議室  
に於て十年度決算、役員改  
選、平町農會總會、來る十八

### 受賞の資格をフイに 昨日泉村の晝火事

あと僅かで無火災五年

泉村ではあつた僅か十日許り、初年の初年は火が早い  
で五ヶ年間無火災の慶で其の印刷物の撤消防火觀念  
筋から表彰する、立場にあつたの慶に對して更に縣管  
注中の處昨午十二日午前十時全縣の消防隊に對し警告  
一時三十分大字下川谷新を發する事になつた  
井一三六江尻五松(五)方  
り發火、同家を半燒して同  
三十分鎮火した、原因は同  
小名濱防砂堤、功、小名  
濱町海岸防砂堤(延長百  
米)復舊工事に費二千五百  
十圓で昨年十一月初旬着工  
此程竣功したので縣土木課  
平野管内遠藤技師が昨日十二日竣功檢  
査  
自動車協會支部總會は十五  
日午後一時から同會會議室  
に於て十年度決算、役員改  
選、平町農會總會、來る十八

### 火の脅威!

消防に警告

平野管内遠藤技師が昨日十二日竣功檢  
査  
自動車協會支部總會は十五  
日午後一時から同會會議室  
に於て十年度決算、役員改  
選、平町農會總會、來る十八

### 女給に難癖つけて カフエにて大暴れ

いなせ過ぎた内郷の肴屋

内郷村大字白水魚商鈴木又將、コックを殴打した上著  
三郎(元)は昨十二日午後六時、カフエに大暴れし更  
時頃平町田町一カフエに取つて向つた警官に  
新事本木キミ方、女給も暴行を働いたので現場か  
の警官が氣に喰はれと女給を引立てられた

### 床下に爆薬隠匿 危険な内郷の坑夫

尙ほ運び込む處を發見

昨十二日午後七時頃内郷村が数日前突如四方を晦した  
大字高坂字御殿岩炭坑吉坑の若し前記事件の關係者  
口を出つた同職探夫新源ではないかと目下行方捜査  
中  
小池與作(三)の暴動不審  
れ小池與作(三)の暴動不審  
れ小池與作(三)の暴動不審

### 連累被疑者

鮮人某の行方捜査

其筋では之の際最近赤井村  
來捜査に緊張味を添して  
れ木村義次郎事根道(三)

#### 試験機完備

久野電氣工業所  
平町紺屋町五三  
(呼電)三六六番

#### 新學期 通學服賣出

男 兒 用 金 鈕 服...3.60  
上 口 黒 小 倉 服...1.60  
女 兒 用 服...2.60  
上 口 黒 小 倉 服...3.60

ふかや洋服店 平三  
電話三〇三

#### 生徒募集

陸海軍人志願シタイ人  
少年航空兵ニナリタイ人  
鐵道員ニナリタイ人  
通信官吏ニナリタイ人  
本校ニ學ンデ此等ニ合格シタル  
實例ハ澤山アリマス。

磐城青年學校  
平町 城 山

#### 友部は皆々様の株式会社です。

株式ハ一枚ヨリ 御下命を願ひます  
債券ハ一枚ヨリ

平・三丁目  
株式公社債  
友部株式会社  
電話 一七七

#### 生花教授

池ノ坊 生花を懇切丁寧に御教授いたし  
ます。お遊びがらみ御出で下さ  
います。平町四丁目和泉旅館

須藤 まつ

#### 磐城家庭婦人會

皆様方の御手不足を補ふ家庭婦人會が出来ました  
ごうを御試用下さいませ。

親切迅速  
會員募集 (入會金ト維持費)  
平町字田町五(元郵便局ウラ)  
電話三九九番(呼出)

#### 募 集

記者一名  
中學卒業程度以上のも  
の。希望者履歴書送付  
あれ、面會日通知

十四日  
(ハ小名濱御所別荘)  
日出 五五三 月出後 〇四一  
日没 五五三 月出後 〇四一  
滿潮前九三〇 千浦後 七〇五

#### 密漁目的か

平野管内に緊張  
爆薬隠匿事件で  
犯人小池は川島司法主任の  
取調に對し「郷里に歸つ

#### 花柳街に妖言

人を脅かす妖言  
根が縁起商賣から比較的  
信心家の集まりである新  
田町界隈に近來極めて物  
騒な噂、それは「いつ何  
日には町内の空家から  
火事が出る、それが無け  
れば何日にはある」と云  
ふ何様とかの御説言とか  
を振り廻され一同縮み上  
つてると云ふ、其筋では  
目下川島司法主任に詳細  
取調中